

2025 年度共同利用・共同研究拠点「地球掘削科学国際研究拠点」研究集会 25M004

炭酸塩コロキウム 2026 in 高知

世話人：白石史人（広島大学）・奥村知世（高知大学）

【趣旨】炭酸塩コロキウムは、炭酸塩堆積物に関わる研究者や学生が一堂に会し、最新の研究成果の発表と活発な議論を行うことを目的とした研究集会であり、1992年に開始されて以来、長い歴史を有する。炭酸塩堆積物は、水圏・地圏・生命圏と密接に関わる堆積物であり、地質学、生物学、地球化学、鉱物学など、分野横断的な視点からの研究が求められる対象であるため、専門性の高い研究集会を通じて異分野の研究者が交流し、融合的な議論を行う機会は極めて重要である。これまで30年以上にわたり、国内の関係研究者が持ち回りで本コロキウムを開催してきたが、この度は、国内有数の石灰岩地域である高知県において、約15年ぶりに開催する運びとなった。最新の研究成果発表に加え、石灰岩鉱山の巡検、炭酸塩を含むコアの観察会を実施し、若手研究者の育成、将来的な共同研究の促進、新規国際プロジェクトへの発展の契機とすることを目的とする。

【主催】海洋コア国際研究所

【開催支援】高知大学基幹研究プロジェクト「海洋地球との共生～持続可能海洋資源の利活用」

【問い合わせ】奥村知世（高知大学）tomoyook@kochi-u.ac.jp

☆学生による発表：優秀発表者の表彰あり

【スケジュール】

==3月8日（日）==

午後：エクスカージョン1：白木谷鉱山の見学会

夕方～@海の宿しおや宿 研修室

17:25~17:30 奥村知世（高知大学）

開催概要

P1\_17:30~17:55 小野好智☆（千葉大学）

首都圏の河川下流域におけるマイクロプラスチックの分布とその堆積システム

P2\_17:55~18:20☆ 岩本洋亮（千葉大学）ほか

隠岐トラフおよび対馬海盆南東部における大型底生生物の炭素・窒素安定同位体を用いた食物網解析

P3\_18:20~19:00 松田博貴（深田地質研究所）ほか

地形・地質遺産の地域社会への活用とその問題点：「喜界島ジオパーク」の認定を受けて

==3月9日(月)==

P4\_8:30~8:55 田中優佑☆ (千葉大学) ほか

日本海南東縁の海底に発達するガスチムニーを介したメタンの移動と集積

P5\_8:55~9:20 松本良 (東京大学名誉教授) ほか

隠岐海嶺域より炭酸塩コンクリーション(MDAC)の回収—MDACの地化学特性からメタン湧出活動史を読み解く—

P6\_9:20~9:45 門野美佳☆ (千葉大学) ほか

堆積物コア中の珪藻化石分析に基づく第四紀後期における日本海南東縁の古海洋環境

P7\_9:45~10:10 澁谷圭佑☆ (千葉大学) ほか

アラスカ州グルカナ氷河に発生する赤雪の定点カメラ時系列解析

P8\_10:10~10:35 永長蓮☆ (広島大学) ほか

海水棲シアノバクテリアの石灰化によるCO<sub>2</sub>隔離能の評価

10:35~10:40 休憩

P9\_10:40~11:05 八木 正彦 (フリーランスペトロコンサルタント、元 JAPEX)

石油探鉱開発における炭酸塩岩の貢献と将来予測

P10\_11:05~11:30 足立奈津子 (大阪公立大学) ほか

北中国山東省のカンプリア系フロンギアン統にみられる微生物類と海綿が関与した礁構造の構築様式

P11\_11:30~11:55 森野善広 (パシフィックコンサルタンツ株式会社)

上部ジュラ～下部白亜系鳥巢式石灰岩の岩相比较と堆積環境

11:55~12:35 お昼休憩

P12\_12:35~13:00 向後拓真☆ (千葉大学)

ドローン撮影画像を使ったアラスカ山脈グルカナ氷河の暗色化要因の解明

P13\_13:00~13:25 大根田夏輝☆ (千葉大学)

ITRAXを用いた日本海堆積物コアの高分解能元素分析：最終氷期以降の海水準変動に伴う底層流の応答

P14\_13:25~13:50 佐藤久遠☆ (広島大学) ほか

インド古原生界Jhamarkotra層に見られるリン酸塩ストロマトライトの形成過程

P15\_13:50~14:15 金子夏樹☆ (千葉大学) ほか

日本海南西部における表層堆積物の全有機炭素・全窒素濃度からみる古環境変動

P16\_14:15~14:40 野田舜☆ (東京大学) ほか

スターチアン氷期の堆積シークエンスに記録されたスノーボールアースの海洋環境

P17\_14:40~15:05 矢部志織☆ (東京大学) ほか

南オーストラリアのクライオジェニア紀間氷期の炭素同位体層序

15:05~15:15 休憩

P18\_15:15~15:40 Pepino Ma. Marivic Capitle (高知大学) ほか

Multi-Proxy Evidence for Species-Dependent Biomineralization in Ogasawara Precious Corals

P19\_15:40~16:20 浦本豪一郎 (高知大学) ほか

高知の石灰岩地質が育んだ土佐和紙

P20\_16:20~16:45 佐久間杏樹 (東京大学) ほか

非晶質炭酸塩を経由するプロトドロマイトの沈殿条件の検

P21\_16:45~17:10 倉本和佳・狩野彰宏 (東京大学) ほか

滋賀県産石筍に記録された過去 10 万年間の気候変動

P22\_17:10~17:35 加藤大和 (帝京科学大学) ほか

静岡県佐鳴湖に生息するハクレンの耳石から推定される魚齢と生活環境史

P23\_17:35~18:00 清原愛・白石史人 (広島大学) ほか

長野県白骨温泉に見られる現世・化石トラバーチンの形成過程

P24\_18:00~18:15 奥村知世 (高知大学)

高知コアセンターに保管されている炭酸塩を含むコアとその概要

==3月10日(火) ==

午前：エクスカーション2：海洋コア国際研究所見学+コア観察会